

**ガラテヤ 14回**  
**「クリスチャンは何をしてもいいのか」**  
**ガラ 5：7～15**

1. はじめに

(1) ガラテヤ人への手紙の位置づけ

- ①ガラテヤ地方の諸教会は、律法主義者の教えの影響を受けた。
- ②パウロは、律法主義者の教えに反論する必要を感じ、この書簡を書いた。

(2) ガラテヤ人への手紙のアウトライン

- ①個人的弁明：パウロの使徒職（1：1～2：21）
- ②教理的教え：信仰義認（3：1～4：31）
- ③実践的教え：キリスト者の自由（5：1～6：18）

(3) 文脈の確認

①5章の内容

- \* 律法主義の弊害（1～6節）
- \* 自由の用い方（7～15節）
- \* 罪に対する勝利（16～21節）
- \* 御霊の実（22～26節）

- ②今回は、自由の用い方（7～15節）を取り上げる。

2. メッセージのアウトライン

- (1) わずかなパン種（7～10節）
- (2) 十字架のつまずき（11～12節）
- (3) キリスト者の自由（13～15節）

3. 結論

- (1) 十字架のつまずき（ガラ 5：11）
- (2) キリスト者の自由（ガラ 5：13）

律法主義の弊害について学ぶ。

**I. わずかなパン種（7～10節）**

1. 7～8節

**Gal 5:7** あなたがたはよく走っていたのに、だれがあなたがたの邪魔をして、真理に従わないようにさせたのですか。

**Gal 5:8** そのような説得は、あなたがたを召された方から出たものではありません。

(1) 信仰生活がレース（競技）にたとえられている。

①パウロは、好んでこのたとえを用いている。

\*1 コリ 9：24～26

\*2 テモ 4：7

**2Ti 4:7** 私は勇敢に戦い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。

(2) ガラテヤ人たちは、よいスタートを切った。

①しかし、このレースに誰かが割り込んで来た。

②「誰」は単数形である。律法主義者のリーダーが想定されているのであろう。

③彼は、信者たちの走りを妨害した。

④コースから逸れるように妨害した（真理から逸脱するように仕向けた）。

(ILL) **2004年アテネオリンピックの男子マラソン選手デ・リマ（ブラジル）**

①36km 地点までトップを走っていた。

②突如沿道から乱入したニール・ホランに抱きつかれ、歩道に押し出された。

③約10秒間のロスタイムが生じ、その直後からペースを崩してしまった。

④結局3位でゴールインし、銅メダルを獲得した。

⑤レースを妨害したホランは、逮捕された。

⑥国際オリンピック委員会から、ピエール・ド・クーベルタン・メダル（クーベルタン男爵の名をつけた特別メダル）が、デ・リマに贈呈された。

(3) 律法主義者の教えは、彼らを召された方から出たものではない。

①「そのような説得は、」（新改訳2017）

②「このような誘いは、」（新共同訳）

③「そのような勧誘は、」（口語訳）

④「かかる勧めは」（文語訳）

(4) ガラ 1：6 の再確認

**Gal 1:6** 私は驚いています。あなたがたが、キリストの恵みによって自分たちを召してくださった方から、このように急に離れて、ほかの福音に移って行くことに。

①神は、恵みによって、彼らを恵みへと導いてくださった。

②それゆえ、律法主義者たちの教えは、神からのものではない。

③その教えを受け入れるなら、ほかの福音に移っていくことになる。

## 2. 9節

**Gal 5:9 わずかなパン種が、こねた粉全体をふくらませるのです。**

(1) これは、格言を使った警告である。

①パン種は、間違った教えの象徴として用いられる。

②1 コリ 5:6

**1Co 5:6 あなたがたが誇っているのは、良くないことです。わずかなパン種が、こねた粉全体をふくらませることを、あなたがたは知らないのですか。**

(2) ここでは、2つの意味が考えられる。

①律法主義を受け入れる信者は少数であっても、群れ全体に影響を及ぼす。

②教理的逸脱は小さなものであっても、福音そのものを破壊する。

## 3. 10節

**Gal 5:10 あなたがたが別の考えを持つことは決してないと、私は主にあって確信しています。しかし、あなたがたを動揺させる者は、だれであろうと、さばきを受けます。**

(1) パウロは、ガラテヤ人たちの判断力に信頼を置いている。

①パウロは、彼らが福音以外のものを信じることはないことを確信している。

②これは、良き羊飼いは羊たちを守ってくださるという確信の表明である。

(2) 律法主義者のリーダーは、さばきを受ける。

①誤った教えによって教会全体に悪影響を及ぼすのは、重大な罪である。

②1 コリ 3:17

**1Co 3:17 もし、だれかが神の宮を壊すなら、神がその人を滅ぼされます。神の宮は聖なるものだからです。あなたがたは、その宮です。**

## II. 十字架のつまずき (11~12節)

### 1. 11節

**Gal 5:11 兄弟たち。もし私が今でも割礼を宣べ伝えているなら、どうして今なお迫害を受けているのですか。それを宣べ伝えているなら、十字架のつまずきはなくなっているはず**

(1) かつてのパウロはパリサイ派に属し、割礼を教えていた。

①今もパウロは、割礼を教えるという噂が広まっていたのであろう。

②しかし、今はそうではない。

③迫害を受けているという事実が、その証拠である。

(2) パウロは、今なお迫害を受けている理由を説明する。

- ①割礼の代わりに、恵みと信仰による救いを宣べ伝えるようになった。
- ②十字架による救いは、ユダヤ人たちにとっては「つまづき」である。
- ③パウロの福音は、ユダヤ人たちにとっては依然として「つまづき」である。

## 2. 12節

**Gal 5:12 あなたがたをかき乱す者たちは、いっそのこと切除してしまえばよいのです。**

(1) パウロは、律法主義者たちに対して厳しい叱責の言葉を語っている。

①新共同訳が参考になる。

**Gal 5:12 あなたがたをかき乱す者たちは、いっそのこと自ら去勢してしまえばよい。**

- ②「割礼を重視する者たちは、いっそのこと器官全部を切除したらよい」
- ③これは、ユダヤ的皮肉である。

\*パウロは、婉曲に「切除」と言っており、「去勢」とは言っていない。

④ユダヤ人にとっては、去勢は忌むべきことである。

\*申 23 : 1

## Ⅲ. キリスト者の自由 (13～15節)

### 1. 13節

**Gal 5:13 兄弟たち。あなたがたは自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕え合いなさい。**

(1) ガラ 5 : 1 の再確認

**Gal 5:1** キリストは、自由を得させるために私たちが解放してくださいました。ですから、あなたがたは堅く立って、再び奴隷のくびきを負わされないようにしなさい。

- ①信者は、キリストによって自由な者とされた。
- ②それゆえ、奴隷のくびきを負わされないように注意する必要がある。

(2) さらに、その自由をどういう目的で用いるかについて、熟慮する必要がある。

①「肉の働く機会としないで、」

\*古い性質に従った放縦な生活をしてはならない。

\*この自由は、何をしても許されるという自由ではない。

②「愛をもって互いに仕え合いなさい」

\*自由のゴールは、愛である。

\*「仕える」は、ギリシア語の「デューレウオウ」という動詞である。

\*信者の愛は、互いに対して奴隷となることによって表現される。

\*私たちは、奴隷から自由人とされた。

\*それゆえ、愛によって互いの奴隷となるのである。

## 2. 14～15節

**Gal 5:14** 律法全体は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という一つのことばで全うされるのです。

**Gal 5:15** 気をつけなさい。互いに、かみつき合ったり、食い合ったりしているなら、互いの間で滅ぼされてしまいます。

(1) 愛の行為は、律法全体を全うする。

①パウロは、レビ 19 : 18 を引用している。

②クリスチャンの愛は、律法全体を全うする。

(2) ガラテヤの教会には分裂があった。

①福音に留まる信者と、律法主義者の影響を受ける信者がいた。

②彼らは、相手を非難し合っていた。

\*カニバリズム(共食い)という用語が、この争いの醜さを表現している。

③この状態は、互いに対する愛の実践とは遠くかけ離れていた。

④この状態が続けば、未信者に対する信者や教会の証しが、破壊されてしまう。

## 結論：

### 1. 十字架のつまずき (ガラ 5 : 11)

**Gal 5:11** 兄弟たち。もし私が今でも割礼を宣べ伝えているなら、どうして今なお迫害を受けているのですか。それを宣べ伝えているなら、十字架のつまずきはなくなっているはずですよ。

(1) 十字架は、ユダヤ人にとっては「つまずき」である。

①1 コリ 1 : 23～24

**1Co 1:23** しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かなことですが、

**1Co 1:24** ユダヤ人であってもギリシア人であっても、召された者たちにとっては、神の力、神の知恵であるキリストです。

②ガラ 3 : 13

**Gal 3:13** キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。「木にかけられた者はみな、のろわれている」と書いてあるからです。

\*申 21 : 23 の引用

- ③ユダヤ人たちは、勝利者としてのメシアを求めていた。
- (2) 十字架は、異邦人にとっても「つまずき」である。
  - ①福音を受け入れるためには、自らの無力を認める必要がある。
  - ②人間的な努力によって、救いが得られるわけではない。
  - ③また、人間の業が救いに貢献するわけでもない。
  - ④これは、人間の自尊心に対する挑戦である。

## 2. 自由の目的（ガラ5：14）

**Gal 5:14** 律法全体は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という一つのことばで全うされるのです。

- (1) レビ 19：18 の引用
  - ①主イエスもこの聖句を引用された。
  - ②マタ 22：39

**Mat 22:39** 『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。

- (2) クリスチャンの愛は、律法が成就したものである。
  - ①ロマ 13：8

**Rom 13:8** だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことは別です。他の人を愛する者は、律法の要求を満たしているのです。

- (3) イエス・キリストによる信者の一致を求める祈り。
  - ①ヨハ 17：21

**Joh 17:21** 父よ。あなたがわたしのうちにおられ、わたしがあなたのうちにいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしたちのうちにいるようにしてください。あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるようになるためです。

- ②これは、エキュメニカル（教会一致）運動が好んで引用する聖句である。
- ③しかし、ヨハ 17：19 には、「真理による聖別」の祈りが出て来る。
- ④イエスのこの祈りは、聖霊が降臨したペンテコステの日に成就した。
  - \*新生した信者は、同じ一つのからだに連なった。
- ⑤パウロは、真理において妥協した一致を勧めているのではない。
- ⑥パウロは、福音の真理に立った信者の一致を勧めている。